

東日本ユニオン TOKYO

JR東日本労働組合東京地方本部

発行責任者 郷 重雄

発行 教宣部

2019年2月4日 NO. 77



本気になって、 やるべきことをやっいていこう！

—— 2019年新春の集い開催 ——

東京地本は、1月19日にホテルラングウッドにおいて「2019年新春の集い」を開催しました。組合員、来賓あわせて40名を超す参加者が集まり、新年を祝うとともに、2019春闘をはじめとした労働条件の向上に向け、闘う決意を確認しました。

2019春闘総決起集会に結集を！

新春の集いは、郷執行委員長のあいさつの後、来賓の皆様から挨拶をいただきました。

鳥屋中央本部組織部長からは、2019春闘に向けた取り組みについて、昨年の春闘の反省に立ち新たな闘いとして本当の春闘をやっいていきたいと、決意が述べられました。

統一地方選・参議院選勝利！

続いて大畑おさむ北区議会議員からは、今年の区議会議員選挙出馬への決意が述べられました。

連合東京の内村副事務局長からは、連合東京の①外国人労働者の組織化 ②東京オリンピック・パラリンピックへの取り組み ③統一地方選挙・参議院議員選挙 ④組織拡大に向けて、挨拶がありました。



その後、海江田衆議院議員をはじめとした激励のメッセージが紹介された後、小泉書記長の乾杯の音頭で開宴となり、恒例の大抽選会で盛り上がりもピークを迎え、交流を深めました。

郷執行委員長あいさつ



富田会長の年頭のあいさつで「仕事のABC」ということを述べていた。

「当（A）たり前のこと」を、「ば（B）かにしないで」「ち（C）ちゃんとやる」ということだが、

立ち位置は違うが労働組合としてもやっいていきたい。

いま、東京支社においても過半数を占める労働組合がなくなった。なぜ、そうなったのか考える必要がある。会社がやろうとしていることをチェックしていく。会社も本気になって変革2027を進めている。労働組合も本気になってやるべきことをやっいていく。

2019春闘は2月9日の中央委員会で方針が決定される。そして2月24日には決起集会が予定されている。労働組合として何ができるのか、皆さんと話しながら進めていきたい。